

平成28年度 第1回佐伯市総合教育会議 議事録

1 日 時 平成28年6月24日（金）開会 14時00分 閉会 15時15分

2 場 所 佐伯市役所 本庁舎 庁議室

3 出席者（構成員）

市長 西嶋 泰義

教育委員

1 番委員 河野 利道（委員長）

2 番委員 谷口 久枝（職務代理）

3 番委員 近藤 愛子

4 番委員 欠席

5 番委員 分藤 高嗣（教育長）

4 事務局

市長部局

秘書政策課長 武田 晴美

秘書政策課政策推進係総括主幹 御手洗 修

秘書政策課政策推進係副主幹 三城 正美

教育委員会事務局

教育部長 丸山 初彦

教育総務課長 小野 正司

学校教育課長 川野 剛

体育保健課長 阿部 俊二

社会教育課長 長田 文春

教育総務課総務企画係総括主幹 山口 文子

教育総務課総務企画係副主幹 河野 晃己

5 会議の概要

開 会

教育総務課長 それではただいまから平成28年度第1回佐伯市総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして西嶋市長より挨拶をいただきます。

1 市長挨拶

市長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、総合教育会議を行うこととなりました。こうした中で平成28年度の会ということで大変お忙しい中、教育委員の方々にご出席いただきましてありがとうございます。1年間いろいろな事業がたくさんありました。教育に関しましては、米水津の統合小

学校が先日開校いたしまして、来年4月には蒲江の統合小学校が開校いたしません。蒲江地区は幼稚園が1園しかありません。その他は保育所です。そうした中で認定こども園の問題もあがっています。地方創生の中で出生率が年間だいたい500人と児童数が激減する状況が続くのではと懸念しております。その為の施策が当たり前になっている部分がありますので、昨年、小中学校の校長先生と懇談会を行いました。中津、宇佐、豊後高田、日田など出生祝金を出しておりますが、出生祝金より医療の充実の方が優先ではということがあります。今年から中学校の冷暖房工事が始まります。学校は災害時の避難場所となっている所もありますので様々な意味での教育行政を今後ともよろしく願いいたします。

教育総務課長 ありがとうございます。続きまして、河野教育委員長より挨拶をいただきます。

2 教育委員長挨拶

委員長 市長さんのお話にもありましたように、法律の一部改正により今年度第1回目の総合教育会議となります。総合教育会議とは何をする場かという、一つに教育大綱を策定することです。佐伯市の教育大綱は、長期総合教育計画「まな美プラン」を大綱とするとしています。その「まな美プラン」も今年で最終年を迎え、次の10年に向けた佐伯市長期総合教育計画を小寺先生を審議会会長に策定中でございます。策定にあたり、佐伯市教育委員会だけではなく広く市民の方々の意見を聴くための地域懇談会、市民アンケートなど総合的に長期総合教育計画に取り入れていこうとしております。この長期総合教育計画をこれからも大事にしながら教育行政を進めていきたいと思っております。教育委員会といたしましては、この会以前より市長さんとの意見交換会を行ってございまして、市長さんには、以前から非常に教育行政にいたしましてご配慮いただいております。今後ともよろしくご指導いただきますようお願いいたします。

教育総務課長 ありがとうございます。それでは、議題の方に移りたいと思いますが、これからの進行につきましては、市長に議長をお願いしたいと思います。

市長 それでは、お手元の次第に沿って進行して行きたいと思っております。(1)平成28年度佐伯市教育行政重点施策について事務局より説明をお願いします。

3 議題

(1) 平成28年度佐伯市教育行政重点施策について

教育総務課長 それでは平成28年度佐伯市教育行政重点施策についてご説明いたします。この重点施策につきましては「まな美プラン2012」の8つの柱を軸といたしまして教育委員会の4課が取り組んでおります。資料の2ページをご覧ください。

＝資料をもとに説明＝

市長 ただいまの事務局からの説明について、ご質問はありませんか。

谷口委員 4 ページの特別支援教育の充実で、学校現場で意見交換会を開催する中で、支援員を増やして欲しいという要望が多いのですが、特別支援教育支援員が現在 35 名というのは、多く感謝をしている次第ですが、35 名より増やす場合は財政的に厳しいのですか。

市長 この費用は全額単費です。本来、県がすべきことであって、足りない分は、市が補填しています。以前より支援員は増えていると思いますが。

学校教育課長 スタート時点では、支援員は 2 名でありまして増やしていただいて現在 35 名となっております。今年度は年度途中で、支援の必要な方が増えて、35 名一杯一杯の状態でありますので、今、追加で派遣要望が出ても対応できない状況です。

市長 幼稚園では、P T A 会員から先生のお手伝いさんのような方を 1 名出してもらっていたが、今はそのようなものはないのですか。

学校教育課長 今は、ありません。

委員長 私が鶴岡小学校の時に P T A 雇いのお手伝いさんのような方が 1 人いたと思います。それがだんだん無くなって現在、市が雇うようになったと思います。他の町村に比べて 35 名は多いと思います。

市長 文化芸術活動の推進の中で文化財の保存・継承で盆踊りなどの伝統文化の継承はどのようになっているのか。

社会教育課長 現在きちんと整理していませんが、今後まとめて新たに録画して保存していきたいと思います。

市長 伝統芸能を引き継ぐ人も高齢化しています。宇目のこども神楽、蒲江の神楽、堅田の盆踊りなど保存継承してもらいたい。

市長 鶴岡小学校と渡町台小学校に今回、防犯カメラを設置いたしました。今後、小中学校の出入口には設置して行ったらどうかと思います。あと、社会教育の関係で、東地区公民館の利用頻度が高い状況にあります。地域のコミュニティー活動を活性化するのに公民館は重要な施設でありますので、活用していただきたいと思います。

社会教育課長 東地区公民館は、市の中心にあるというのもありますが、公民館活動としてのいい事業ができていると思います。

市長 いろいろなことが出ましたが、担当課で整理していただきたいと思います。

(2) 佐伯市長期総合教育計画の策定に係る経過報告について

市長 次に、(2) 佐伯市長期総合教育計画の策定に係る経過報告について説明をお願いします。

教育総務課長 それでは議題 2 ということで、佐伯市長期総合教育計画の経過報告といたしまして資料をご覧ください。

＝資料をもとに説明＝

近藤委員 計画を練っているということですね。

市長 策定委員会や 4 つの専門部会で練ったものを審議会で審議して計画を作成していくというものであります。審議会で承認を得たものを最終的には、教育委員会で決定することになります。

(3) その他

- 市長 その他、何かございますか。
- 市長 今年度から市内約 20 校で教育用タブレットの導入を始めております。佐賀県でもタブレットの導入を進めておりますが、本市でも佐伯東小学校・西浦小学校で産学官の検証をして導入に至っております。
- 市長 その他ありませんか。
- 谷口委員 無形的な文化財の保存に関してなんですが、運動会でソーラン節などを踊っていますが、それを佐伯地元の踊りを踊ることで残していくことはできないのかと思います。
- 市長 堅田踊りなどがありますが、地区ごとに踊りが違い 1 本に統一することは非常に難しいと聞いております。
- 教育長 運動会で踊るソーランは、それぞれの学校で新しい文化として引き継がれています。市の教育委員会として保存してはいません。
- 市長 佐伯音頭は、佐伯商工祭のために戦後つくったものです。今、新佐伯音頭というものがありますがまだまとまっていません。
- 教育部長 昔ながらの盆踊りが各地区であったと思うんですが、継承する人たちが少なくなっているのが各振興局管内で問題になっています。旧佐伯市に至っては堅田踊りがありますが、盆踊り自体ない所もありますので、今後どうするか課題になっています。
- 教育長 運動会で盆踊りをするのは、各地区で違うので難しい部分があります。姫島でのきつね踊りも各地区で違うと聞いております。
- 市長 運動公園も合宿施設が完成しますので、小・中学校でも活用をしていただきたいと思います。
- 市長 その他ありませんか。
- (確認：特になし)
- 市長 特にないようですので、以上で本日の第 1 回佐伯市総合教育会議を終了します。

6 傍聴人 0 名